



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
コード番号 4093 URL <https://www.toho-ace.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 秀敏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐古 慶治 (TEL) 022-385-7692
管理本部長
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月13日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|------|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 16,313 | 0.7 | 931 | 27.2 | 1,077 | 27.2 | 621 | 34.5 |
| 2024年3月期中間期 | 16,200 | 3.3 | 732 | 26.3 | 847 | 26.0 | 462 | 25.0 |

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 684百万円(29.2%) 2024年3月期中間期 530百万円(37.8%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| 2025年3月期中間期 | 円 銭 17.88 | 円 銭 — |
| 2024年3月期中間期 | 13.30 | — |

(注) 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------------|---------------|-----------|
| 2025年3月期中間期 | 百万円 32,355 | 百万円 19,836 | % 55.1 |
| 2024年3月期 | 33,660 | 19,478 | 52.0 |

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 17,829百万円 2024年3月期 17,501百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|-------------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 25.00 | 円 銭 — | 円 銭 9.00 | 円 銭 — |
| 2025年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 2025年3月期(予想) | — | — | — | 9.00 | 14.00 |

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり期末配当金額については、株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。なお、当該株式分割を考慮した場合の2024年3月期の1株当たりの年間配当金合計は、14.00円となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 36,000 | 1.6 | 2,300 | 8.7 | 2,500 | 2.4 | 1,600 | 13.0 | 46.03 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2025年3月期中間期 | 35,020,000株 | 2024年3月期 | 35,020,000株 |
| 2025年3月期中間期 | 242,925株 | 2024年3月期 | 259,920株 |
| 2025年3月期中間期 | 34,764,933株 | 2024年3月期中間期 | 34,745,828株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 当社は、2024年1月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等の注記) | 11 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用と所得環境が改善する中で、経済環境は緩やかな回復基調が期待されるものの、一方で、為替の変動や不安定な国際情勢を背景とする原油価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当中間連結会計期間の売上高は163億13百万円と前中間連結会計期間に比べ1億12百万円(0.7%)の増加となり、営業利益は9億31百万円と前中間連結会計期間に比べ1億98百万円(27.2%)の増加、経常利益は10億77百万円と前中間連結会計期間に比べ2億30百万円(27.2%)の増加、親会社株主に帰属する中間純利益は6億21百万円と前中間連結会計期間に比べ1億59百万円(34.5%)の増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、93億47百万円と前中間連結会計期間に比べ2億15百万円(2.4%)増加、営業利益は8億90百万円と前中間連結会計期間に比べ99百万円(12.5%)増加しました。

ガス関連事業の状況といたしましては、窒素は発電所向け、アルゴン及び石油類は工業用向けに出荷数量は減少しましたが、酸素は工業用向けに出荷が好調であったこと及び液化石油ガスは輸入価格の変動に伴い販売価格が上昇したことから、売上高及び営業利益は増加しました。

エスプーマ関連事業

エスプーマ関連事業の売上高は、8億92百万円と前中間連結会計期間に比べ22百万円(2.5%)減少しましたが、営業利益は2億76百万円と前中間連結会計期間に比べ39百万円(16.8%)増加しました。

エスプーマ関連事業の状況といたしましては、食品関連器材の需要が減少したことにより売上高は減少しました。営業利益は、食品用ガス容器の購入等が当期は無かったことにより増加しました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、49億57百万円と前中間連結会計期間に比べ2億50百万円(4.8%)減少、営業利益は1億87百万円と前中間連結会計期間に比べ41百万円(18.0%)減少しました。

器具器材関連事業の状況といたしましては、溶接材料は自動車関連向け、溶接切断器具は大型工作機械の需要が減少したことにより売上高及び営業利益は減少しました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、4億41百万円と前中間連結会計期間に比べ1億26百万円(40.3%)増加、営業損益は前中間連結会計期間に比べ11百万円増加し、1百万円の営業利益(前中間連結会計期間は9百万円の営業損失)となりました。

自動車機器関連事業の状況といたしましては、自動車部品メーカーの国内外の設備投資需要が増加したことにより売上高及び営業利益は増加しました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、5億22百万円と前中間連結会計期間に比べ3百万円(0.8%)増加、営業利益は88百万円と前中間連結会計期間に比べ74百万円(551.3%)増加しました。

製氷機関連事業の状況といたしましては、製氷・冷凍機械のメンテナンス工事が増加したことにより売上高は増加しました。営業利益は、製造コストの低減を図ったことにより増加しました。

その他

その他の売上高は、1億52百万円と前中間連結会計期間に比べ38百万円(33.9%)増加、営業利益は31百万円と前中間連結会計期間に比べ10百万円(48.6%)増加しました。

その他の状況といたしましては、医療用ガス配管工事が増加したことにより、売上高及び営業利益は増加しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、323億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5百万円減少となりました。この主な要因は、投資有価証券は増加(2億83百万円)しましたが、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の売上債権の回収により売上債権等が減少(19億7百万円)したことによるものであります。

負債は、125億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億63百万円減少となりました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要の減少に伴う仕入債務の減少(14億93百万円)及び未払法人税等の減少(1億18百万円)によるものであります。

純資産は、198億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億58百万円増加となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少(3億13百万円)がありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益を計上(6億21百万円)したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、92億90百万円となり、前連結会計年度末より3億2百万円(3.4%)の増加となりました。

営業活動で得られた資金は11億76百万円、投資活動で使用した資金は4億9百万円、財務活動で使用した資金は4億64百万円となり、現金及び現金同等物は増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益の増加及び売上債権等の回収額が増加したものの、仕入債務及び法人税等の支払い額が増加したこと等により、前中間連結会計期間に比べ84百万円(6.7%)減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産及び投資有価証券の取得による支出が減少したこと等により、前中間連結会計期間に比べ6億9百万円(59.8%)支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払い等が増加したものの、短期借入金による収入が増加したことにより、前中間連結会計期間に比べ30百万円(6.3%)支出が減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,987,916 | 9,290,328 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 6,939,975 | 4,894,866 |
| 電子記録債権 | 2,669,702 | 2,807,004 |
| 商品及び製品 | 1,211,430 | 1,278,324 |
| 仕掛品 | 26,010 | 25,813 |
| 原材料及び貯蔵品 | 132,742 | 149,862 |
| その他 | 355,666 | 337,897 |
| 貸倒引当金 | △15,015 | △17,448 |
| 流動資産合計 | 20,308,430 | 18,766,649 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,707,320 | 3,639,885 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 715,633 | 670,625 |
| 土地 | 5,559,013 | 5,483,786 |
| その他(純額) | 584,816 | 691,172 |
| 有形固定資産合計 | 10,566,784 | 10,485,470 |
| 無形固定資産 | 129,865 | 117,723 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,741,348 | 2,025,170 |
| その他 | 965,392 | 1,013,583 |
| 貸倒引当金 | △51,598 | △53,382 |
| 投資その他の資産合計 | 2,655,142 | 2,985,371 |
| 固定資産合計 | 13,351,791 | 13,588,564 |
| 資産合計 | 33,660,221 | 32,355,213 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,295,968 | 3,903,580 |
| 電子記録債務 | 1,232,433 | 1,131,712 |
| 短期借入金 | 3,200,000 | 3,165,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 82,796 | 81,996 |
| 未払法人税等 | 544,706 | 426,558 |
| 賞与引当金 | 407,603 | 408,745 |
| 役員賞与引当金 | 24,320 | — |
| その他 | 1,104,515 | 1,101,980 |
| 流動負債合計 | 11,892,343 | 10,219,573 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 168,004 | 127,006 |
| 役員退職慰労引当金 | 393,800 | 392,243 |
| 退職給付に係る負債 | 1,311,430 | 1,353,776 |
| 資産除去債務 | 45,694 | 45,843 |
| その他 | 370,820 | 379,896 |
| 固定負債合計 | 2,289,750 | 2,298,765 |
| 負債合計 | 14,182,093 | 12,518,338 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,261,000 | 2,261,000 |
| 資本剰余金 | 1,120,437 | 1,122,195 |
| 利益剰余金 | 14,128,562 | 14,437,030 |
| 自己株式 | △65,945 | △61,058 |
| 株主資本合計 | 17,444,053 | 17,759,166 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 57,814 | 70,807 |
| その他の包括利益累計額合計 | 57,814 | 70,807 |
| 非支配株主持分 | 1,976,260 | 2,006,901 |
| 純資産合計 | 19,478,128 | 19,836,874 |
| 負債純資産合計 | 33,660,221 | 32,355,213 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 16,200,722 | 16,313,022 |
| 売上原価 | 10,986,059 | 10,914,735 |
| 売上総利益 | 5,214,663 | 5,398,286 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,482,274 | 4,466,939 |
| 営業利益 | 732,388 | 931,347 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 302 | 535 |
| 受取配当金 | 10,033 | 19,087 |
| 受取賃貸料 | 64,048 | 62,567 |
| 持分法による投資利益 | 36,465 | 1,643 |
| 保険解約返戻金 | 27,232 | 68,491 |
| その他 | 40,770 | 40,558 |
| 営業外収益合計 | 178,853 | 192,883 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15,492 | 19,546 |
| 賃貸費用 | 24,355 | 24,160 |
| 貸倒引当金繰入額 | 21,486 | — |
| その他 | 2,439 | 2,630 |
| 営業外費用合計 | 63,774 | 46,337 |
| 経常利益 | 847,467 | 1,077,893 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3,287 | 2,605 |
| 助成金収入 | — | 23,938 |
| 補助金収入 | 1,529 | — |
| 特別利益合計 | 4,816 | 26,544 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1,940 | 19,870 |
| 減損損失 | 69,312 | — |
| 固定資産圧縮損 | 1,529 | 23,938 |
| 特別損失合計 | 72,782 | 43,809 |
| 税金等調整前中間純利益 | 779,502 | 1,060,628 |
| 法人税等 | 281,355 | 392,908 |
| 中間純利益 | 498,147 | 667,719 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 35,866 | 46,009 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 462,281 | 621,710 |

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|------------------|--|--|
| 中間純利益 | 498,147 | 667,719 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 29,524 | 17,983 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2,514 | △767 |
| その他の包括利益合計 | 32,038 | 17,215 |
| 中間包括利益 | 530,185 | 684,935 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 490,101 | 634,703 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 40,084 | 50,232 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 779,502 | 1,060,628 |
| 減価償却費 | 301,357 | 323,241 |
| 減損損失 | 69,312 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 20,423 | 4,216 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 5,649 | 1,141 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △18,740 | △24,320 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △17,209 | △1,557 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △43,075 | 42,345 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10,335 | △19,622 |
| 支払利息 | 15,492 | 19,546 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △36,465 | △1,643 |
| 固定資産売却益 | △3,287 | △2,605 |
| 固定資産除売却損 | 1,940 | 19,870 |
| 助成金収入 | — | △23,938 |
| 補助金収入 | △7,678 | △9,241 |
| 保険解約返戻金 | △27,232 | △68,491 |
| 固定資産圧縮損 | 1,529 | 23,938 |
| 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) | 773,027 | 1,907,807 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △74,926 | △83,816 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △143,458 | △1,493,108 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △85,578 | 28,489 |
| その他 | 105,877 | △3,226 |
| 小計 | 1,606,126 | 1,699,654 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12,744 | 23,393 |
| 利息の支払額 | △15,099 | △20,384 |
| 補助金の受取額 | — | 9,241 |
| 法人税等の支払額 | △342,953 | △535,881 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,260,818 | 1,176,023 |

(単位:千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △468,098 | △267,538 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,578 | 59,384 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △22,472 | △8,404 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △503,105 | △261,604 |
| 貸付けによる支出 | △400 | △500 |
| 貸付金の回収による収入 | 3,620 | 102 |
| 保険積立金の積立による支出 | △3,062 | △87,088 |
| 保険積立金の解約による収入 | 27,232 | 135,223 |
| 敷金の差入による支出 | △39,805 | — |
| 助成金の受取額 | — | 23,938 |
| 補助金の受取額 | 7,678 | — |
| その他 | △23,735 | △2,877 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,018,569 | △409,364 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 110,000 | 265,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △240,000 | △300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △32,896 | △41,798 |
| リース債務の返済による支出 | △36,972 | △54,208 |
| 自己株式の取得による支出 | △65 | △1 |
| 配当金の支払額 | △276,640 | △312,724 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △18,640 | △20,514 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △495,216 | △464,247 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △252,967 | 302,411 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,537,503 | 8,987,916 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 8,284,536 | 9,290,328 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-----------------------|------------|---------------|--------------|---------------|-------------|------------|
| | ガス 関連事業 | エスプーマ 関連事業 | 器具器材 関連事業 | 自動車機器 関連事業 | 製氷機 関連事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,131,710 | 915,001 | 5,207,325 | 314,262 | 518,289 | 16,086,590 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,131,710 | 915,001 | 5,207,325 | 314,262 | 518,289 | 16,086,590 |
| セグメント利益又は損失(△) | 791,428 | 236,920 | 228,645 | △9,982 | 13,520 | 1,260,532 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 114,132 | 16,200,722 | — | 16,200,722 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 114,132 | 16,200,722 | — | 16,200,722 |
| セグメント利益又は損失(△) | 21,394 | 1,281,927 | △549,538 | 732,388 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△549,538千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-----------------------|------------|---------------|--------------|---------------|-------------|------------|
| | ガス 関連事業 | エスプーマ 関連事業 | 器具器材 関連事業 | 自動車機器 関連事業 | 製氷機 関連事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,347,118 | 892,480 | 4,957,294 | 441,061 | 522,287 | 16,160,243 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 9,347,118 | 892,480 | 4,957,294 | 441,061 | 522,287 | 16,160,243 |
| セグメント利益 | 890,512 | 276,650 | 187,456 | 1,039 | 88,064 | 1,443,722 |

| | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|------------|--------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 152,779 | 16,313,022 | — | 16,313,022 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 152,779 | 16,313,022 | — | 16,313,022 |
| セグメント利益 | 31,790 | 1,475,513 | △544,166 | 931,347 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額 △544,166千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。